

## 2. 既存資料調査

既存資料調査結果の概要は、以下に示すとおりである。

収集した「令和2年度における公共用水域及び地下水の水質調査結果について」（大阪府環境農林水産部、令和3年）及び「令和元年度公共用水域の水質等測定結果報告書」（兵庫県農政環境部、令和2年）から、大阪府データは平成28年度～令和2年度、兵庫県データは平成27年度～令和元年度の5年間に測定された月毎の水質測定データを整理した。

### (1) 生活環境項目

生活環境項目の既存資料調査結果は、表5.3.2(1)～(4)に示すとおりである。

#### ① 水素イオン濃度

水素イオン濃度は上層で7.3～9.0、下層で7.7～8.8の範囲にあった。上層ではB類型で60検体中28検体が、C類型で180検体中49検体が環境基準（B類型7.8以上8.3以下、C類型7.0以上8.3以下）に適合していなかった。

下層ではB類型で60検体中6検体が、C類型で60検体中2検体が環境基準に適合していなかった。

#### ② 溶存酸素量

溶存酸素量は上層で4.3～14mg/L、下層で0.5未満～10mg/Lの範囲にあった。上層ではいずれの調査地点も環境基準（B類型5mg/L以上、C類型2mg/L以上）に適合していたが、下層ではB類型で60検体中6検体が、C類型で64検体中3検体が環境基準に適合していなかった。

#### ③ 化学的酸素要求量

化学的酸素要求量は上層では1.3～9.2mg/L、下層では1.1～3.1mg/Lであり、上層ではB類型で60検体中31検体が、C類型で180検体中1検体が環境基準（B類型3mg/L以下、C類型8mg/L以下）に適合していなかった。下層ではいずれの調査地点も環境基準に適合していた。

#### ④ n-ヘキサン抽出物質

n-ヘキサン抽出物質はB-3、C-3及び尼崎沖の3地点の上層で測定されている。いずれの調査地点においても定量限界未満（<0.5mg/L）であり、B類型に指定されているB-3では、環境基準（検出されないこと）に適合していた。なお、C類型においては、当項目の環境基準は設定されていない。

#### ⑤ 大腸菌群数

大腸菌群数は尼崎港沖のみで測定されており、 $4.0\sim 2.4\times 10^6$ MPN/100mLの範囲にあった。なお、C類型においては当項目の環境基準は設定されていない。

#### ⑥ 全窒素

全窒素は上層で0.19～2.2mg/L、下層で0.10～0.53mg/Lの範囲にあった。上層ではⅢ類型で60検体中6検体が、Ⅳ類型で110検体中16検体が環境基準（Ⅲ類型0.6mg/L以下、Ⅳ類型1mg/L以下）に適合していなかった。下層ではいずれの調査地点も環境基準に適合していた。

#### ⑦ 全リン

全リンは上層で0.020～0.23mg/L、下層で0.014～0.15mg/Lの範囲にあった。上層ではⅢ類型で60検体中18検体が、Ⅳ類型で110検体中36検体が環境基準（Ⅲ類型0.05mg/L以下、Ⅳ類型0.09mg/L以下）に適合していなかった。下層ではⅢ類型で60検体中8検体が、Ⅳ類型で60検体中3検体が環境基準に適合していなかった。

## (2) 水生生物生息環境項目

水生生物生息環境項目の既存資料調査結果は、表 5.3.2(5)、(6)に示すとおりである。水生生物生息環境項目は、上層のみ測定されている。

### ① 全亜鉛

全亜鉛は 0.001 未満～0.026mg/L の範囲にあった。B-3、C-3 及び尼崎沖では環境基準（生物 A 類型 0.02mg/L 以下）に適合していたが、0-3 では 12 検体中 1 検体が環境基準に適合していなかった。

### ② ノニルフェノール

ノニルフェノールは 0.00006 未満～0.00009mg/L の範囲であった。全ての調査地点で環境基準（生物 A 類型 0.001mg/L 以下）に適合していた。

### ③ 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩は 0.0006 未満～0.0029mg/L の範囲であった。全ての調査地点で環境基準（生物 A 類型 0.01mg/L 以下）に適合していた。

## (3) その他の項目

その他の項目の既存資料調査結果は、表 5.3.2(7)、(8)に示すとおりである。

### ① 浮遊物質量

浮遊物質量は B-3、C-3 及び 0-3 の上層、B-3 及び C-3 の下層で測定されており、上層で 1 未満～10mg/L、下層で 1～16mg/L の範囲にあった。なお、当項目の環境基準は設定されていない。

### ② 塩分

塩分は B-3 及び C-3 の上層、下層で測定されており、上層で 11.4～32.0、下層で 24.3～34.1 の範囲にあった。なお、当項目の環境基準は設定されていない。

### ③ クロロフィル a

クロロフィル a は B-3、C-3 及び 0-3 の上層で測定されており、0.1 未満～91  $\mu$ g/L の範囲にあった。なお、当項目の環境基準は設定されていない。

### ④ アンモニア性窒素

アンモニア性窒素は B-3、C-3、0-3 及び尼崎港沖の上層、B-3 及び C-3 の下層で測定されており、上層で 0.01 未満～0.29mg/L、下層で 0.04 未満～0.24mg/L の範囲にあった。なお、当項目の環境基準は設定されていない。

## (4) 健康項目

健康項目の既存資料調査結果は、表 5.3.2(9)、(10)に示すとおりである。健康項目は、上層のみ測定されている。

### ① ふっ素

ふっ素は B-3 及び C-3 で測定されており、0.71～1.7mg/L であった。なお、海域においては、当項目の基準値は適応されない。

### ② ほう素

ほう素は B-3 及び C-3 で測定されており、2.3～4.1mg/L であった。なお、海域においては、当項目の基準値は適応されない。

③ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は 0.08 未満～1.2mg/L の範囲にあり、全ての調査地点で環境基準（10mg/L 以下）に適合していた。

④ 砒素

砒素は B-3、C-3 及び 0-3 で 0.005 未満、尼崎港沖で 0.001 未満～0.001 であり、全ての調査地点で環境基準（0.01mg/L 以下）に適合していた。

なお、その他の健康項目は、いずれも報告下限値未満であり、全ての調査地点で環境基準に適合していた。

(5) ダイオキシン類

ダイオキシン類の既存資料調査結果は、表 5.3.2(11)に示すとおりである。

ダイオキシン類は C-3 及び 0-3 の上層で測定されており、0.032～0.063pg-TEQ/L の範囲にあり、環境基準（1pg-TEQ/L 以下）に適合していた。

表 5.3.2(1) 既存資料調査結果（水質）（生活環境項目①）

調査地点	類型	調査層	水素イオン濃度				溶存酸素量(mg/L)						
			最小	～	最大	m/n	基準値	最小	～	最大	平均	m/n	基準値
B-3	B	上層	7.9	～	8.8	28/60	7.8 以上 8.3 以下	5.8	～	13	9.4	0/60	5mg/L 以上
		下層	7.9	～	8.8	6/60		<0.5	～	10	6.6	6/60	
C-3	C	上層	7.8	～	8.9	16/60	7.0 以上 8.3 以下	4.8	～	13	8.9	0/60	2mg/L 以上
		下層	7.7	～	8.4	2/60		1.6	～	10	6.0	3/60	
0-3	C	上層	7.8	～	9.0	26/60		4.8	～	14	9.3	0/60	
		下層	—		—	—		2.3	～	5.9	3.6	0/4	
尼崎港沖	C	上層	7.3	～	8.9	7/60	4.3	～	13	8.4	0/60		

注：1. 月に 2 回測定されている場合は 1 回目の測定値を集計の対象とした。

2. 「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

表 5.3.2(2) 既存資料調査結果（水質）（生活環境項目②）

調査地点	類型	調査層	化学的酸素要求量 (mg/L)				n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)								
			最小	～	最大	平均	m/n	基準値	最小	～	最大	平均	m/n	基準値	
B-3	B	上層	1.6	～	7.1	3.2	31/60	3mg/L 以下	<0.5	～	<0.5	<0.5	0/60	検出され ない こと	
		下層	1.1	～	2.5	1.9	0/60		—	—	—	—	—		
C-3	C	上層	2.0	～	6.7	3.6	0/60	8mg/L 以下	<0.5	～	<0.5	<0.5	-/10	—	
		下層	1.2	～	3.1	2.1	0/60		—	—	—	—	—		
0-3	C	上層	1.3	～	9.2	3.8	1/60		—	—	—	—	—		
		下層	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—		
尼崎港沖	C	上層	2.0	～	7.8	4.1	0/60		<0.5	～	<0.5	<0.5	-/10		—

注：1. 月に2回測定されている場合は1回目の測定値を集計の対象とした。

2. 「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「—」は環境基準がない項目であることを示す。

表 5.3.2(3) 既存資料調査結果（水質）（生活環境項目③）

調査地点	類型	調査層	大腸菌群数 (MPN/100mL)				
			最小	～	最大	平均	m/n
B-3	B	上層	—	—	—	—	—
		下層	—	—	—	—	—
C-3	C	上層	—	—	—	—	—
		下層	—	—	—	—	—
0-3	C	上層	—	—	—	—	—
		下層	—	—	—	—	—
尼崎港沖	C	上層	4.0	～	2.4×10 <sup>6</sup>	1.0×10 <sup>5</sup>	-/30

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「—」は環境基準がない項目であることを示す。

表 5.3.2(4) 既存資料調査結果（水質）（生活環境項目④）

調査地点	類型	調査層	全窒素 (mg/L)				全リン (mg/L)							
			最小	～	最大	平均	m/n	基準値	最小	～	最大	平均	m/n	基準値
B-3	Ⅲ	上層	0.19	～	0.88	0.44	6/60	0.6mg/L 以下	0.020	～	0.11	0.047	18/60	0.05mg/L 以下
		下層	0.10	～	0.50	0.25	0/60		0.014	～	0.077	0.035	8/60	
C-3	Ⅳ	上層	0.28	～	1.6	0.77	7/60	1mg/L 以下	0.032	～	0.13	0.071	13/60	0.09mg/L 以下
		下層	0.15	～	0.53	0.31	0/60		0.023	～	0.15	0.047	3/60	
0-3	Ⅳ	上層	0.28	～	1.4	0.74	3/20		0.022	～	0.15	0.059	1/20	
		下層	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	
尼崎港沖	Ⅳ	上層	0.58	～	2.2	0.98	6/30		0.038	～	0.23	0.12	22/30	

注：1. 月に2回測定されている場合は1回目の測定値を集計の対象とした。

2. 「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

表 5.3.2(5) 既存資料調査結果（水質）（水生生物生息環境項目①）

調査地点	類型	調査層	全亜鉛 (mg/L)				基準値	ノニルフェノール(mg/L)				基準値		
			最小	～	最大	平均		m/n	最小	～	最大		平均	m/n
B-3	生物 A	上層	0.001	～	0.008	0.003	0/20	0.02mg/L 以下	<0.00006	～	0.00009	0.00006	0/18	0.001 mg/L 以下
		下層	—	—	—	—	—		—	—	—	—		
C-3	生物 A	上層	0.001	～	0.012	0.005	0/28		<0.00006	～	0.00006	0.00006	0/18	
		下層	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	
O-3	生物 A	上層	<0.001	～	0.026	0.005	1/12		<0.00006	～	0.00008	0.00006	0/12	
		下層	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	
尼崎港沖	生物 A	上層	0.002	～	0.018	0.008	0/20		<0.00006	～	0.00007	0.00006	0/10	

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

表 5.3.2(6) 既存資料調査結果（水質）（水生生物生息環境項目②）

調査地点	類型	調査層	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (mg/L)				基準値	
			最小	～	最大	平均		m/n
B-3	生物 A	上層	<0.0006	～	0.0007	0.0006	0/18	0.01mg/L 以下
		下層	—	—	—	—	—	
C-3	生物 A	上層	<0.0006	～	0.0029	0.0008	0/18	
		下層	—	—	—	—	—	
O-3	生物 A	上層	<0.0006	～	0.0016	0.0008	0/10	
		下層	—	—	—	—	—	
尼崎港沖	生物 A	上層	<0.0006	～	0.0007	0.0006	0/10	

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

表 5.3.2(7) 既存資料調査結果（水質）（その他の項目①）

調査地点	調査層	浮遊物質量(mg/L)			塩分		
		最小 ~ 最大	平均	m/n	最小 ~ 最大	平均	m/n
B-3	上層	<1 ~ 10	3	-/60	19.6 ~ 32.0	28.5	-/60
	下層	1 ~ 11	3	-/60	30.0 ~ 34.0	32.0	-/60
C-3	上層	<1 ~ 9	4	-/60	11.4 ~ 31.1	24.1	-/60
	下層	1 ~ 16	4	-/60	24.3 ~ 34.1	31.6	-/60
O-3	上層	3 ~ 3	3	-/ 1	—	—	—
	下層	—	—	—	—	—	—
尼崎港沖	上層	—	—	—	—	—	—

注：1. 月に2回測定されている場合は1回目の測定値を集計の対象とした。  
 2. 「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「—」は環境基準がない項目であることを示す。

表 5.3.2(8) 既存資料調査結果（水質）（その他の項目②）

調査地点	調査層	クロロフィル a ( $\mu\text{g/L}$ )			アンモニア性窒素 (mg/L)		
		最小 ~ 最大	平均	m/n	最小 ~ 最大	平均	m/n
B-3	上層	<0.1 ~ 55	10.0	-/60	<0.04 ~ 0.13	0.05	-/60
	下層	—	—	—	<0.04 ~ 0.13	0.05	-/60
C-3	上層	0.7 ~ 91	14.5	-/60	<0.04 ~ 0.25	0.08	-/60
	下層	—	—	—	<0.04 ~ 0.24	0.07	-/60
O-3	上層	2.1 ~ 72	28.1	-/14	<0.04 ~ 0.08	0.05	-/10
	下層	—	—	—	—	—	—
尼崎港沖	上層	—	—	—	<0.01 ~ 0.29	0.06	-/30

注：1. 月に2回測定されている場合は1回目の測定値を集計の対象とした。  
 2. 「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「—」は環境基準がない項目であることを示す。

表 5.3.2(9) 既存資料調査結果（水質）（健康項目①）

調査地点		B-3		C-3		基準値
項目	層	測定値 (mg/L)	m/n	測定値 (mg/L)	m/n	
カドミウム	上層	<0.0003	0/4	<0.0003	0/4	0.003mg/L 以下
全シアン	上層	<0.1	0/4	<0.1	0/4	検出されないこと
鉛	上層	<0.005	0/4	<0.005	0/4	0.01mg/L 以下
六価クロム	上層	<0.02	0/4	<0.02	0/4	0.05mg/L 以下
砒素	上層	<0.005	0/4	<0.005	0/4	0.01mg/L 以下
総水銀	上層	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	上層	—	—	—	—	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	上層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	検出されないこと
ジクロロメタン	上層	<0.002	0/4	<0.002	0/4	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	上層	<0.0002	0/4	<0.0002	0/4	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	上層	<0.0004	0/4	<0.0004	0/4	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	上層	<0.002	0/4	<0.002	0/4	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	上層	<0.004	0/4	<0.004	0/4	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	上層	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	上層	<0.0006	0/4	<0.0006	0/4	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	上層	<0.001	0/4	<0.001	0/4	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	上層	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	上層	<0.0002	0/4	<0.0002	0/4	0.002mg/L 以下
ベンゼン	上層	<0.001	0/4	<0.001	0/4	0.01mg/L 以下
チウラム	上層	<0.0006	0/4	<0.0006	0/4	0.006mg/L 以下
シマジン	上層	<0.0003	0/4	<0.0003	0/4	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	上層	<0.002	0/4	<0.002	0/4	0.02mg/L 以下
セレン	上層	<0.002	0/4	<0.002	0/4	0.01mg/L 以下
ふっ素	上層	1.0~1.1	-/4	0.71~1.7	-/4	—
ほう素	上層	3.4~4.1	-/4	2.3~2.7	-/4	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	上層	<0.08~0.46	0/60	<0.08~0.84	0/60	10mg/L 以下
1,4-ジオキサン	上層	<0.005	0/8	<0.005	0/10	0.05mg/L 以下

注：1. 月に2回測定されている場合は1回目の測定値を集計の対象とした。

2. 「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

3. 六価クロムの基準値は、調査対象期間における基準値を示す。

表 5.3.2(10) 既存資料調査結果（水質）（健康項目②）

調査地点		0-3		尼崎港沖		基準値
項目	層	測定値 (mg/L)	m/n	測定値 (mg/L)	m/n	
カドミウム	上層	<0.0003	0/10	<0.0003	0/20	0.003mg/L 以下
全シアン	上層	<0.1	0/10	<0.1	0/20	検出されないこと
鉛	上層	<0.005	0/10	<0.001	0/20	0.01mg/L 以下
六価クロム	上層	<0.02	0/10	<0.01	0/20	0.05mg/L 以下
砒素	上層	<0.005	0/10	<0.001~0.001	0/20	0.01mg/L 以下
総水銀	上層	<0.0005	0/10	<0.0005	0/20	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	上層	—	—	<0.0005	0/20	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	上層	<0.0005	0/5	<0.0005	0/5	検出されないこと
ジクロロメタン	上層	<0.002	0/10	<0.002	0/10	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	上層	<0.0002	0/10	<0.0002	0/10	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	上層	<0.0004	0/10	<0.0004	0/10	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	上層	<0.002	0/10	<0.01	0/10	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	上層	<0.004	0/10	<0.004	0/10	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	上層	<0.0005	0/10	<0.0005	0/10	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	上層	<0.0006	0/10	<0.0006	0/10	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	上層	<0.001	0/10	<0.001	0/10	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	上層	<0.0005	0/10	<0.0005	0/10	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	上層	<0.0002	0/10	<0.0002	0/10	0.002mg/L 以下
ベンゼン	上層	<0.001	0/10	<0.001	0/10	0.01mg/L 以下
チウラム	上層	<0.0006	0/10	<0.0006	0/10	0.006mg/L 以下
シマジン	上層	<0.0003	0/10	<0.0003	0/10	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	上層	<0.002	0/10	<0.002	0/10	0.02mg/L 以下
セレン	上層	<0.002	0/10	<0.001	0/10	0.01mg/L 以下
ふっ素	上層	—	—	—	—	—
ほう素	上層	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	上層	<0.08~1.2	0/10	0.071~1.1	0/30	10mg/L 以下
1,4-ジオキサン	上層	<0.005	0/10	<0.005	0/10	0.05mg/L 以下

注：1. 月に2回測定されている場合は1回目の測定値を集計の対象とした。

2. 「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

3. 六価クロムの基準値は、調査対象期間における基準値を示す。



表 5.3.2(11) 既存資料調査結果（水質）（ダイオキシン類）

調査地点	調査層	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)				基準値	
		最小	～	最大	平均		m/n
B-3	上層	—		—	—	1pg-TEQ/L 以下	
	下層	—		—	—		
C-3	上層	0.032	～	0.063	0.050		0/5
	下層	—		—	—		—
O-3	上層	0.054	～	0.054	0.054		0/1
	下層	—		—	—		—
尼崎港沖	上層	—		—	—	—	

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

### 3. 現地調査

#### (1) 水質

現地調査結果の概要は、以下に示すとおりである。

##### ① 現地観測項目

現地観測項目の調査結果は、表 5.3.3(1)～(3)に示すとおりである。

##### ② 生活環境項目

生活環境項目の調査結果は、表 5.3.3(4)～(7)に示すとおりである。

###### a. 水素イオン濃度

水素イオン濃度は上層で 7.8～8.8、下層で 7.9～8.1 の範囲にあり、上層では計 36 検体中 3 検体が環境基準（C 類型 7.0 以上 8.3 以下）に適合していなかった。下層ではいずれの調査地点も環境基準に適合していた。

###### b. 溶存酸素量

溶存酸素量は上層で 5.1～12mg/L、下層で 1.4～8.7mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準（C 類型 2mg/L 以上）に適合していた。下層では計 36 検体中 1 検体が環境基準に適合していなかった。

###### c. 化学的酸素要求量

化学的酸素要求量は上層で 1.9～6.1mg/L、下層で 1.1～2.8mg/L の範囲であり、全ての調査地点で環境基準（C 類型 8mg/L 以下）に適合していた。

###### d. n-ヘキサン抽出物質

n-ヘキサン抽出物質は上層、下層のいずれも報告下限値（0.5mg/L）未満であった。なお、C 類型においては、当項目の基準値が定められていない。

###### e. 大腸菌群数

大腸菌群数は上層で  $2.0 \sim 5.4 \times 10^4$ MPN/100mL、下層で 1.8 未満～ $2.4 \times 10^2$ MPN/100mL の範囲にあった。なお、C 類型においては、当項目の基準値が定められていない。

###### f. 全窒素

全窒素は上層で 0.28～1.3mg/L、下層で 0.15～0.87mg/L の範囲にあった。上層では計 36 検体中 2 検体が環境基準（IV 類型 1mg/L 以下）に適合していなかった。下層ではいずれの調査地点も環境基準に適合していた。

###### g. 全リン

全リンは上層で 0.020～0.14mg/L、下層で 0.017～0.072mg/L の範囲にあった。上層では計 36 検体中 4 検体が環境基準（IV 類型 0.09mg/L 以下）に適合していなかった。下層ではいずれの調査地点も環境基準に適合していた。

##### ③ 水生生物生息環境項目

水生生物生息環境項目の調査結果は、表 5.3.3(8)～(10)に示すとおりである。

###### a. 全亜鉛

全亜鉛は上層で 0.002～0.034mg/L、下層で 0.001 未満～0.012mg/L の範囲であり、上層では計 36 検体中 3 検体が環境基準（生物 A 類型 0.02mg/L 以下）に適合していなかった。

下層ではいずれの調査地点も環境基準に適合していた。

**b. ノニルフェノール**

ノニルフェノールは、上層、下層のいずれも報告下限値（0.0002mg/L）未満であり、全ての調査地点で環境基準（生物A類型0.001mg/L以下）に適合していた。

**c. 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩**

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩は、上層、下層のいずれも報告下限値（0.0006mg/L）未満であり、全ての調査地点で環境基準（生物A類型0.01mg/L以下）に適合していた。

**d. 底層溶存酸素量**

底層溶存酸素量は1.4～10mg/Lであった。なお、水生生物の保全に係る水質環境基準の水域類型が指定されていないため、基準値は定められていない。

**④ その他の項目**

その他の項目の調査結果は、表5.3.3(11)、(12)に示すとおりである。

**a. 浮遊物質**

浮遊物質は上層で1～7mg/L、下層で1～5mg/Lの範囲にあった。

**b. 塩分**

塩分は上層で4.1～30.9、下層で28.1～32.3の範囲にあった。

**c. TOC**

TOCは上層で1.1～2.9mg/L、下層で1.0～1.7mg/Lの範囲にあった。

**d. クロロフィル a**

クロロフィル a は上層で1.5～72 μg/L、下層で0.2～20 μg/Lの範囲にあった。

**e. アンモニア性窒素**

アンモニア性窒素は上層で0.02～0.49mg/L、下層で0.03～0.17mg/Lの範囲にあった。

**⑤ 健康項目**

健康項目の調査結果は、表5.3.3(13)に示すとおりである。

**a. ふっ素**

ふっ素は上層で0.48～0.91mg/L、下層で0.91～1.1mg/Lであった。なお、海域においては、当項目の基準値が定められていない。

**b. ほう素**

ほう素は上層で2.1～3.8mg/L、下層で3.7～4.4mg/Lであった。なお、海域においては、当項目の基準値が定められていない。

**c. 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素**

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は上層で0.04mg/L未満～0.65mg/L、下層で0.10～0.12mg/Lの範囲にあり、全ての調査地点で環境基準（10mg/L以下）に適合していた。

なお、その他の項目は、いずれも報告下限値未満であり全ての調査地点で環境基準に適合していた。

⑥ ダイオキシン類

ダイオキシン類の調査結果は、表 5.3.3(14)に示すとおりである。

ダイオキシン類は 0.078~0.10pg-TEQ/L の範囲であり、全ての調査地点で環境基準 (1pg-TEQ/L 以下) に適合していた。

表 5.3.3(1) 水質の現地調査結果 (現地観測項目①)

調査日	2019年12月24日			2020年1月16日			2020年2月21日			2020年3月3日			
調査地点	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	
時刻	9:57	9:23	10:25	10:34	9:27	11:17	9:58	9:25	10:33	10:00	9:30	10:25	
気温(°C)	10.8	10.5	11.2	7.6	6.1	11.4	13.2	11.0	14.8	11.3	9.6	10.6	
水深(m)	12.6	13.4	14.5	12.5	11.6	14.7	12.5	13.1	14.3	12.4	13.2	14.6	
天気	晴	晴	晴	曇	曇	晴	快晴	快晴	快晴	晴	晴	晴	
雲量	4	6	4	9	9	6	0	0	1	6	6	6	
水温(°C)	上層 (海面下1m)	14.3	14.4	14.6	12.2	12.5	12.0	11.4	11.3	11.4	11.5	11.2	11.7
	下層 (海底上2m)	15.7	15.8	15.8	13.2	13.1	13.0	11.4	11.4	11.4	11.4	11.4	11.4
色相	黒緑	黒緑	ボトル グリーン	フォレスト グリーン	フォレスト グリーン	ボトル グリーン	ボトル グリーン	ボトル グリーン	ボトル グリーン	黒緑	黒緑	黒緑	
臭気	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
透明度(m)	4.2	6.5	4.0	4.5	4.5	5.5	4.0	3.7	3.8	3.5	2.8	3.9	

表 5.3.3(2) 水質の現地調査結果 (現地観測項目②)

調査日	2020年4月21日			2020年5月19日			2020年6月16日			2020年7月16日			
調査地点	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	
時刻	9:55	9:21	10:22	10:07	9:36	10:43	9:57	9:23	10:27	9:45	9:14	10:07	
気温(°C)	15.9	16.0	16.4	19.5	19.6	21.5	24.6	24.1	24.5	26.7	24.1	27.6	
水深(m)	12.5	12.9	14.0	12.2	12.8	14.0	12.1	12.5	13.8	12.2	12.5	14.2	
天気	曇	曇	曇	曇	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	
雲量	9	10	9	10	10	8	3	10	3	5	5	7	
水温(°C)	上層 (海面下1m)	14.8	14.7	14.8	18.0	18.0	17.5	23.0	23.1	22.5	23.2	23.0	23.4
	下層 (海底上2m)	13.2	13.2	13.2	15.5	15.8	15.5	20.3	19.8	19.8	22.3	22.4	22.2
色相	オリーブ グリーン	オリーブ グリーン	オリーブ グリーン	シダー グリーン	ボトル グリーン	シダー グリーン	オリーブ グリーン	オリーブ グリーン	オリーブ グリーン	ときわ 色	ときわ 色	ときわ 色	
臭気	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
透明度(m)	1.6	2.0	2.0	1.9	2.0	1.9	1.9	1.8	1.4	2.4	2.0	1.7	

表 5.3.3(3) 水質の現地調査結果 (現地観測項目③)

調査日		2020年8月5日			2020年9月16日			2020年10月14日			2020年11月17日		
調査地点		No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3
時刻		10:15	9:18	11:03	9:58	9:22	10:32	9:37	9:09	10:05	9:47	9:17	10:10
気温(°C)		30.0	30.6	29.8	27.8	26.5	27.9	22.2	22.1	23.2	16.5	16.4	17.5
水深(m)		12.1	13.1	14.7	11.7	11.3	13.1	12.2	12.8	14.1	13.0	13.4	15.0
天気		晴	晴	晴	曇	曇	曇	晴	晴	晴	快晴	快晴	快晴
雲量		5	4	5	10	10	10	3	3	3	0	0	0
水温 (°C)	上層 (海面下1m)	27.2	27.4	26.3	26.3	26.2	26.2	23.2	23.1	23.1	19.6	19.2	19.6
	下層 (海底上2m)	21.5	21.7	21.4	25.6	25.3	25.3	23.0	23.0	23.0	19.7	19.7	19.7
色相		オリブ グリーン	ホトト グリーン	オリブ グリーン	シダー グリーン	シダー グリーン	シダー グリーン	フォレスト グリーン	フォレスト グリーン	フォレスト グリーン	フォレスト グリーン	フォレスト グリーン	フォレスト グリーン
臭気		無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
透明度(m)		2.0	1.9	1.9	1.5	1.7	1.8	6.5	7.0	5.5	2.8	2.5	3.0

表 5.3.3(4) 水質の現地調査結果 (生活環境項目①)

調査地点	類型	調査層	水素イオン濃度				溶存酸素量(mg/L)						
			最小	～	最大	m/n	基準値	最小	～	最大	平均	m/n	基準値
No.1	C	上層	7.9	～	8.8	1/12	7.0以上 8.3以下	5.4	～	10	8.6	0/12	2mg/L 以上
		下層	7.9	～	8.1	0/12		1.4	～	8.6	6.0	1/12	
No.2	C	上層	7.8	～	8.6	1/12		6.1	～	12	9.0	0/12	
		下層	7.9	～	8.0	0/12		2.5	～	8.3	5.7	0/12	
No.3	C	上層	7.9	～	8.6	1/12		5.1	～	11	8.3	0/12	
		下層	7.9	～	8.0	0/12		2.0	～	8.7	5.4	0/12	

注:「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

表 5.3.3(5) 水質の現地調査結果 (生活環境項目②)

調査地点	類型	調査層	化学的酸素要求量 (mg/L)				n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)							
			最小	～	最大	平均	m/n	基準値	最小	～	最大	平均	m/n	基準値
No.1	C	上層	1.9	～	6.1	3.3	0/12	8mg/L 以下	<0.5	～	<0.5	<0.5	-/12	—
		下層	1.3	～	2.8	1.8	0/12		<0.5	～	<0.5	<0.5	-/12	
No.2	C	上層	2.1	～	5.6	3.2	0/12		<0.5	～	<0.5	<0.5	-/12	
		下層	1.1	～	2.5	1.7	0/12		<0.5	～	<0.5	<0.5	-/12	
No.3	C	上層	1.9	～	5.3	3.2	0/12		<0.5	～	<0.5	<0.5	-/12	
		下層	1.2	～	1.8	1.5	0/12		<0.5	～	<0.5	<0.5	-/12	

注:「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「—」は環境基準がない項目であることを示す。

表 5.3.3(6) 水質の現地調査結果（生活環境項目③）

調査地点	類型	調査層	大腸菌群数 (MPN/100mL)				
			最小	～	最大	平均	m/n
No. 1	C	上層	2.0	～	5.4×10 <sup>4</sup>	5.5×10 <sup>3</sup>	-/12
		下層	<1.8	～	2.2×10 <sup>2</sup>	55	-/12
No. 2	C	上層	4.5	～	1.6×10 <sup>4</sup>	1.8×10 <sup>3</sup>	-/12
		下層	<1.8	～	2.4×10 <sup>2</sup>	37	-/12
No. 3	C	上層	14	～	5.4×10 <sup>4</sup>	5.9×10 <sup>3</sup>	-/12
		下層	<1.8	～	2.4×10 <sup>2</sup>	43	-/12

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「-」は環境基準がない項目であることを示す。

表 5.3.3(7) 水質の現地調査結果（生活環境項目④）

調査地点	類型	調査層	全窒素 (mg/L)				基準値	全リン (mg/L)						
			最小	～	最大	平均		m/n	最小	～	最大	平均	m/n	基準値
No. 1	IV	上層	0.28	～	1.1	0.61	1mg/L 以下	0.021	～	0.14	0.059	1/12	0.09mg/L 以下	
		下層	0.19	～	0.87	0.37		0/12	0.019	～	0.072	0.042		0/12
No. 2	IV	上層	0.30	～	0.99	0.69		0/12	0.020	～	0.12	0.061		1/12
		下層	0.19	～	0.51	0.33		0/12	0.019	～	0.062	0.035		0/12
No. 3	IV	上層	0.52	～	1.3	0.77		1/12	0.027	～	0.12	0.069		2/12
		下層	0.15	～	0.49	0.31		0/12	0.017	～	0.062	0.037		0/12

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

表 5.3.3(8) 水質の現地調査結果（水生生物生息環境項目①）

調査地点	類型	調査層	全亜鉛 (mg/L)					ノニルフェノール(mg/L)						
			最小	～	最大	平均	m/n	基準値	最小	～	最大	平均	m/n	基準値
No. 1	生物 A	上層	0.003	～	0.018	0.008	0/12	0.02mg/L 以下	<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	0/12	0.001 mg/L 以下
		下層	0.001	～	0.012	0.005	0/12		<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	0/12	
No. 2	生物 A	上層	0.004	～	0.034	0.012	2/12		<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	0/12	
		下層	0.001	～	0.011	0.005	0/12		<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	0/12	
No. 3	生物 A	上層	0.002	～	0.022	0.009	1/12		<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	0/12	
		下層	<0.001	～	0.010	0.004	0/12		<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	0/12	

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

表 5.3.3(9) 水質の現地調査結果（水生生物生息環境項目②）

調査地点	類型	調査層	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (mg/L)				基準値	
			最小	～	最大	平均		m/n
No. 1	生物 A	上層	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	0/12	0.01mg/L 以下
		下層	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	0/12	
No. 2	生物 A	上層	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	0/12	
		下層	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	0/12	
No. 3	生物 A	上層	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	0/12	
		下層	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	0/12	

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

表 5.3.3(10) 水質の現地調査結果（水生生物生息環境項目③）

調査地点	調査層	底層溶存酸素量 (mg/L)			平均	m/n
		最小	～	最大		
No. 1	下層	1.4	～	10	5.5	-/12
No. 2	下層	2.1	～	8.3	5.4	-/12
No. 3	下層	1.5	～	8.9	5.3	-/12

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「-」は環境基準がない項目であることを示す。

表 5.3.3(11) 水質の現地調査結果（その他の項目①）

調査地点	調査層	浮遊物質質量(mg/L)			塩分			TOC(mg/L)		
		最小 ~ 最大	平均	m/n	最小 ~ 最大	平均	m/n	最小 ~ 最大	平均	m/n
No. 1	上層	2 ~ 6	4	-/12	5.0 ~ 30.9	23.8	-/12	1.2 ~ 2.9	1.8	-/12
	下層	1 ~ 4	2	-/12	29.7 ~ 32.1	31.5	-/12	1.0 ~ 1.5	1.2	-/12
No. 2	上層	1 ~ 7	4	-/12	4.1 ~ 29.9	22.9	-/12	1.1 ~ 2.9	1.8	-/12
	下層	1 ~ 4	2	-/12	29.3 ~ 32.2	31.6	-/12	1.0 ~ 1.6	1.1	-/12
No. 3	上層	1 ~ 7	4	-/12	10.5 ~ 29.4	22.9	-/12	1.2 ~ 2.7	1.8	-/12
	下層	1 ~ 5	2	-/12	28.1 ~ 32.3	31.6	-/12	1.0 ~ 1.7	1.2	-/12

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「-」は環境基準がない項目であることを示す。

表 5.3.3(12) 水質の現地調査結果（その他の項目②）

調査地点	類型	調査層	クロロフィル a ( $\mu\text{g/L}$ )			アンモニア性窒素 (mg/L)		
			最小 ~ 最大	平均	m/n	最小 ~ 最大	平均	m/n
No. 1	C	上層	2.8 ~ 64	16	-/12	0.04 ~ 0.49	0.14	-/12
		下層	0.4 ~ 20	4.4	-/12	0.03 ~ 0.17	0.10	-/12
No. 2	C	上層	1.5 ~ 72	17	-/12	0.04 ~ 0.32	0.14	-/12
		下層	0.2 ~ 6.3	2.6	-/12	0.04 ~ 0.15	0.09	-/12
No. 3	C	上層	1.9 ~ 55	17	-/12	0.02 ~ 0.31	0.14	-/12
		下層	0.3 ~ 7.7	2.5	-/12	0.05 ~ 0.15	0.09	-/12

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「-」は環境基準がない項目であることを示す。



表 5.3.3(13) 水質の現地調査結果（健康項目）

項目	調査層	調査地点 No. 1		調査地点 No. 2		調査地点 No. 3		基準値
		測定値 (mg/L)	m/n	測定値 (mg/L)	m/n	測定値 (mg/L)	m/n	
カドミウム	上層	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	0.003mg/L 以下
	下層	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	
全シアン	上層	<0.1	0/2	<0.1	0/2	<0.1	0/2	検出されな いこと
	下層	<0.1	0/2	<0.1	0/2	<0.1	0/2	
有機磷	上層	<0.1	-/2	<0.1	-/2	<0.1	-/2	—
	下層	<0.1	-/2	<0.1	-/2	<0.1	-/2	
鉛	上層	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	0.01mg/L 以下
	下層	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	
六価クロム	上層	<0.02	0/2	<0.02	0/2	<0.02	0/2	0.05mg/L 以下
	下層	<0.02	0/2	<0.02	0/2	<0.02	0/2	
砒素	上層	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	0.01mg/L 以下
	下層	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	
総水銀	上層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	0.0005mg/L 以下
	下層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	
アルキル水銀	上層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	検出されな いこと
	下層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	
ポリ塩化ビフェニル	上層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	検出されな いこと
	下層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	
ジクロロメタン	上層	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	0.02mg/L 以下
	下層	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	
四塩化炭素	上層	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	0.002mg/L 以下
	下層	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	
1,2-ジクロロエタン	上層	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2	0.004mg/L 以下
	下層	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2	
1,1-ジクロロエチレン	上層	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	0.1mg/L 以下
	下層	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	
シス-1,2-ジクロロエチレン	上層	<0.004	0/2	<0.004	0/2	<0.004	0/2	0.04mg/L 以下
	下層	<0.004	0/2	<0.004	0/2	<0.004	0/2	
1,1,1-トリクロロエタン	上層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	1mg/L 以下
	下層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	
1,1,2-トリクロロエタン	上層	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	0.006mg/L 以下
	下層	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	
トリクロロエチレン	上層	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/2	0.01mg/L 以下
	下層	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/2	
テトラクロロエチレン	上層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	0.01mg/L 以下
	下層	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	
1,3-ジクロロプロペン	上層	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	0.002mg/L 以下
	下層	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	
ベンゼン	上層	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/2	0.01mg/L 以下
	下層	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/2	
チウラム	上層	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	0.006mg/L 以下
	下層	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	
シマジン	上層	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	0.003mg/L 以下
	下層	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	
チオベンカルブ	上層	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	0.02mg/L 以下
	下層	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	
セレン	上層	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	0.01mg/L 以下
	下層	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	
ふっ素	上層	0.53~0.91	-/2	0.53~0.85	-/2	0.48~0.81	-/2	—
	下層	0.91~1.0	-/2	0.99	-/2	0.96~1.1	-/2	
ほう素	上層	2.3~3.8	-/2	2.3~3.6	-/2	2.1~3.6	-/2	—
	下層	3.7~4.3	-/2	4.2	-/2	4.3~4.4	-/2	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	上層	<0.04~0.50	0/2	<0.04~0.49	0/2	0.16~0.65	0/2	10mg/L 以下
	下層	0.10	0/2	0.10~0.11	0/2	0.12	0/2	
1,4-ジオキサン	上層	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	0.05mg/L 以下
	下層	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	

注：1. 「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。ただし、「—」は環境基準がない項目であることを示す。

2. 六価クロムの基準値は、調査対象期間における基準値を示す。

表 5.3.3(14) 水質の現地調査結果（ダイオキシン類）

調査地点	調査層	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)		
		測定値	m/n	基準値
No. 1	上層	0.078	0/1	1pg-TEQ/L 以下
	下層	—	—	
No. 2	上層	0.10	0/1	
	下層	—	—	
No. 3	上層	0.079	0/1	
	下層	—	—	

注：「m/n」は、「環境基準値を超過した検体数/総検体数」を示す。

## (2) 流況

現地調査結果の概要は、以下に示すとおりである。

### ① 流向及び流速

流向別流速の出現頻度は図 5.3.4、平均大潮期の流況は図 5.3.5(1)、(2)に示すとおりである。

流向は、地点 No. 1 は概ね南南東及び北北西方向を中心とした流れ、地点 No. 2 は概ね南南西方向を中心とした流れ、地点 No. 3 は地形に沿った東方向を中心とした流れであった。

流速は、各地点とも 20cm/s 以下の頻度が高くなっていた。

平均大潮時の流況は、高潮時と低潮時の比較では低潮時の方が流速が大きい傾向にあり、高潮時は概ね北から西方向への流れ、低潮時は概ね南から東方向への流れとなっていた。

### ② 流れの周期性

流速変動のエネルギースペクトル及び自己相関係数は図 5.3.6(1)～(3)、主要 4 分潮の潮流の調和解析結果は表 5.3.4、主要 4 分潮の潮流楕円は図 5.3.7(1)～(3)に示すとおりである。

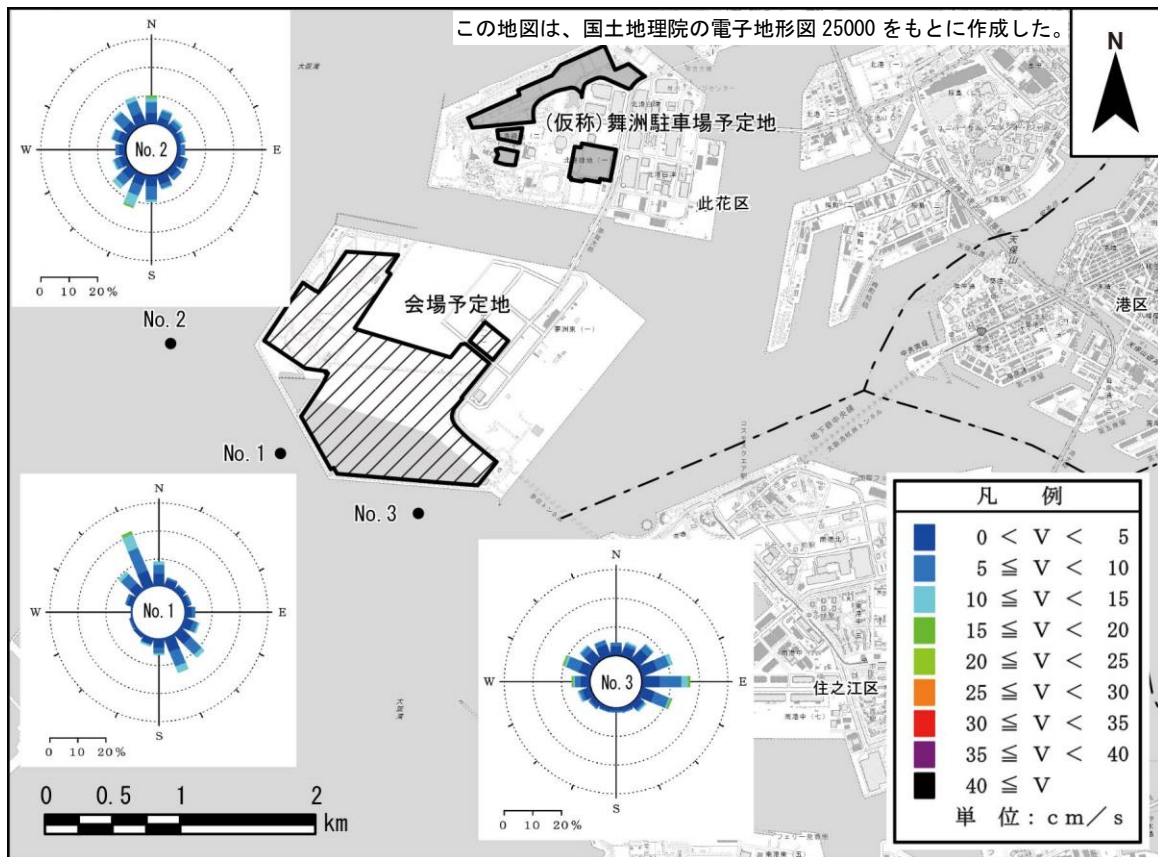
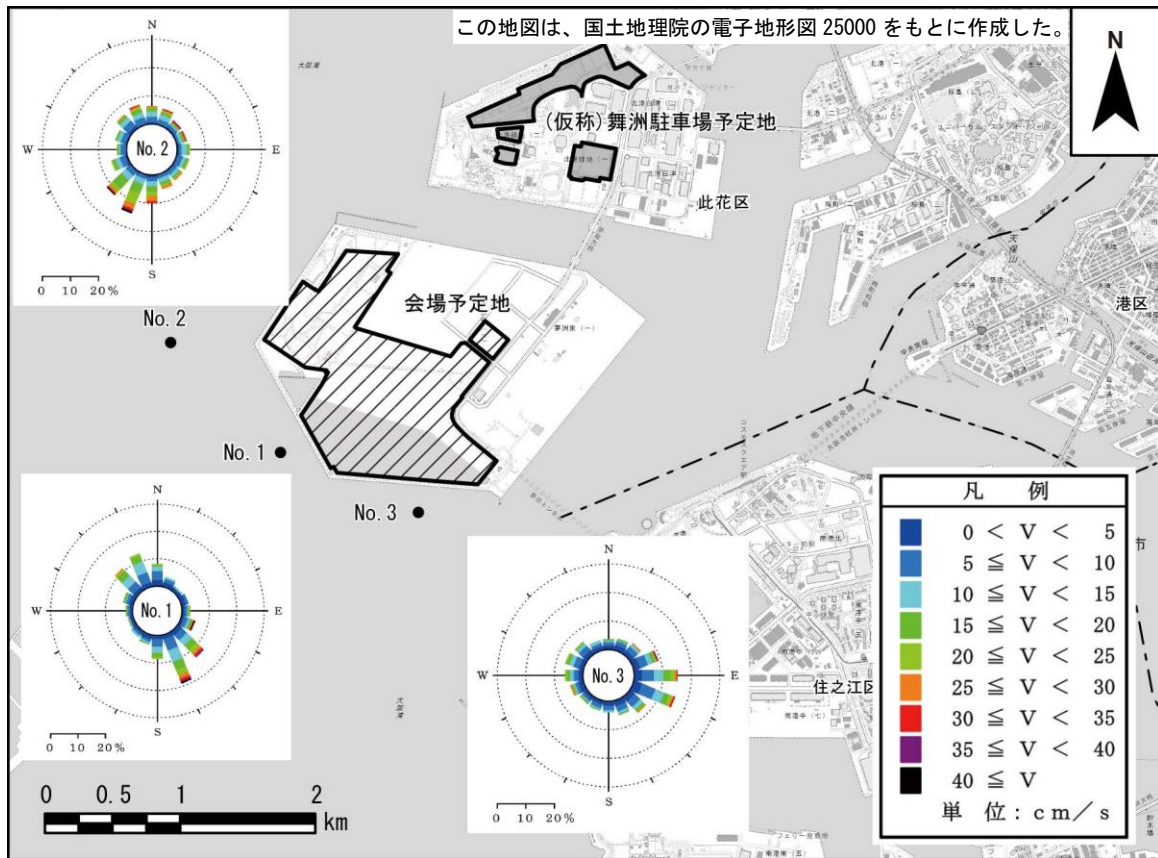
地点 No. 1, No. 2 では、約 24 時間周期の流れの成分である  $K_1$  分潮流（日月合成日周潮）及び  $O_1$  分潮流（主太陰日周潮）が卓越していた。

各分潮流の長軸方向の流速は、 $K_1$  分潮流（日月合成日周潮）では 1.5～10.1cm/s、 $O_1$  分潮流（主太陰日周潮）では 0.7～5.9cm/s、 $M_2$  分潮流（主太陰半日周潮）では 2.4～6.0cm/s、 $S_2$  分潮流（主太陽半日周潮）では 1.1～4.6cm/s であった。

### ③ 恒流成分

流向及び流速の調査結果から求めた各季節の連続測定期間（15 日間）の平均流（恒流）の分布は、図 5.3.8 に示すとおりである。

恒流の流向は、海面下 1m は地点 No. 1 が地形に沿った南東方向、地点 No. 2 が南南西、地点 No. 3 が東方向となっており、恒流の流速は、海面下 1m が 2.6cm/s～4.2cm/s、海底面上 2m が 0.8cm/s～1.5cm/s であった。



注：グラフは流向別の出現頻度を棒の長さで、流速を凡例にしたがい記載した。

図 5.3.4 流向別流速の出現頻度（上：海面下 1m、下：海底面上 2m）